

高機能レーザー加工機導入によるニーズ 対応力強化と高付加価値生産の実現

高機能レーザー加工機を導入し、当社が実用新案権を有する木製タイル「スクエアウッズ」の脱着システムとあわせて、顧客（オフィス構築を行う大手専門商社等）の要求するデザイン製品を実現した。



成功のポイント

国産の木材は、私たちと同じ空気や水、土に育てられたとても身近な存在です。だからこそ私たちは国産の中でも多摩産にこだわります。私たちは木を見ると心が休まり、ものを大切にする気持ちも自然に育まれます。林業家はこれまで見えないところで山の保全や木材の利用に努力してきました。これからは、木の長所をもっと私たちの生活に取り入れられるようにしていきたいと思っています。



取締役統括部長 勅使川原 敦氏

企業名

細田木材工業株式会社

所在地 〒136-0082 東京都江東区新木場2-5-3

電話番号 03-3521-8701

U R L <https://www.woody-art-hosoda.co.jp>

代表者 細田悌治

資本金 9,500万円

従業員 47人

企業紹介

昭和6年創業、戦後間もない頃は焼け野原となった東京の復興に尽力した。現在も、柱や長押、内装材等で使用される建築用木材の製材を得意とするが、住環境の変化や法律の整備に応え、天然木化粧合板や造作用集成材での低ホルムアルデヒドのJAS認定を取得した他、フローリング等の表面保護の目的で主に使われるSSG塗装（特殊液体ガラス塗装）の技術習得、ライフスタイルを多様化する木製インテリアの製造・販売等、時代に合わせた木材の活用を進めている。平成26年には、多摩産杉間伐材を有効利用した脱着可能な木製タイル「スクエアウッズ」を自社開発した。

取組みの内容

無地の木製製品に彫刻等を施し付加価値を高めるために、飯田工業製レーザー加工機L-907PC-100型を導入した。集成材、無垢材、合板といった15種類の材種に対して、出力や速度調整の基本データを取得し、加工種類、材種ごとの最適条件を導いた。それにより、従来は塗装による着色でしか表現できなかったスクエアウッズに対し、文字や図柄の彫刻が可能となり、デザインの多様性につながった。

また、加工が可能なサイズは、最小1cm四方から最大100cm×60cmまでと幅広く、マグネットサイズの小さなものから、ボードサイズまで、対応可能になった。



レーザー加工機L-907PC-100型



印刷と同じ模様を、レーザー加工で木の特徴を生かして仕上げることも可能



木材の柔らかさが好評の「きえすぎくん」

商品開発のポイントと課題

現在、当社の製品で注目を集めているのが、書いて消せる木製ボード「きえすぎくん」である。2018年度のグッドデザイン賞を受賞し、ホームページを見て、当社のショールームに訪れる人も多い。水性ペンで書くタッチは非常にやわらかく、書いた後はさっと一拭きで消すことができるため、幼稚園の床材や壁材としての利用も進んでいる。ウエルカムボードにもこれと同じ表面処理が施されており、書いたり消したりが自在にできる。風雨や繰返し使用などの暴露試験も済み、今後どのように当該技術や製品を知ってもらおうかが次の課題となっている。

今後の展望

このように当社では、長年培われてきた木材の加工技術と、彫刻などの技術を合わせることによって、木材の新たな魅力を引き出すことに成功している。日本の気候には、通気性と保温性を兼ね備えた木材がよくあい、近年は、子どもが小さい頃から木に触れさせたいという家庭も増えている。これまでのような建材としての木材の利用だけでなく、木材の表現力を引き出し、高めることによって、もっと手軽に生活に木材を取り入れられるよう、壁材やインテリアにおける「きえすぎくん」の活用等、様々な木材利用法を発信していきたいとしている。